

科目名	ビジネスマナーⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1後	教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人になる前に必要な心構えを理解し、社会人として相応しい言葉遣いを学び、コミュニケーションが取れるようにする。また電話応対の基礎的な技能が身につくよう指導する。							
授業の一般目標	ビジネスマナーと電話応対技能を身につける。							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本『実践ビジネスマナー』、学習プリント、電話応対機							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	テキストや学習プリント教材の基本的な内容を読み取ることができる							
☐ 思考・判断の観点	基本的な知識を元に、演習問題、ロールプレイングに柔軟に取り組む							
☐ 関心・意欲の観点	マナーや電話応対などの技能の必要性を理解し、会得したいという気持ちが表れている							
☐ 態度の観点	授業中に私語、居眠りをせず、積極的に取り組む姿勢を示す							
☐ 技能・表現の観点	基本的な知識を元に、電話や来客、訪問などで適切な応対、接遇ができる							
授業計画(全体)								
教本『実践ビジネスマナー』を中心に、社会人としての基本的なマナーを理解身につけられるよう指導する。まずは2年生次に自信を持って就職活動に臨めるよう、とくにお辞儀のしかた、敬語の正しい使い方、電話応対に焦点を当てる。授業の始めと終わりのお辞儀を確実に行わせることとする。電話応対は電話応対機を用いて、一人づつ個別に指導する。さらに訪問時のマナーとそれに伴う席次、名刺交換等の作法もその必然性と共に覚えさせる。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	第1章 社会人の心構え / 2章 基本動作							
2	第3章 言葉遣い(敬語の種類と使い分け)							
3	第3章 言葉遣い(間違いやすい敬語)							
4	第3章 言葉遣い(感じの良い言葉遣い)☑							
5	第5章 電話応対(電話の基本マナーと応対用語)							
6	第5章 電話応対(電話の受け方)							
7	第5章 電話応対(ロールプレイング:不在時の取り次ぎ)							
8	第5章 電話応対(ロールプレイング:不在時の取り次ぎ)							
9	第5章 電話応対(ロールプレイング:伝言をさく)							
10	第5章 電話応対(携帯電話のマナー)							
11	第6章 訪問のマナー(アポイントメントをとる)							
12	第6章 訪問のマナー(応接室にて)							
13	第6章 訪問のマナー(席次、名刺)							
14	期末試験							
15	試験ふり返り							
成績評価方法								
1 出席状況、授業中の姿勢								
2 学習プリントの記入内容が適切かどうか、文字は丁寧かどうか								
3 電話応対や面接のロールプレイング等、実技の取り組みの姿勢								
4 期末試験の得点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						60%	秀、S(4):90点以上
小テスト		○					10%	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○					10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○				5%	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習				○	◎		15%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	(公・財)日本電信電話ユーザ協会 電話応対技能検定指導者級保持者 (一・社)日本ホテルレストランサービス技能協会 食卓作法認定講師として、企業研修などに当たる。			

[illegible]

科目名	飼養管理学Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ペットや動物業界に関わる内容について学ぶ。ペット業界について広い知識を持ち、説明できるようになる 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペット業界について興味を持つ							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） パワーポイント、VTR							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	愛玩動物から産業動物まで広い知見を身に付けている							
☐ 思考・判断の観点	愛玩動物に係わる正しい知識を身に付け人に説明できる							
☐ 関心・意欲の観点	愛玩動物に係わる現状に興味関心を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士取得に必要な知識をテキストやPowerPoint、関連VTRを用いて学んでゆく								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	犬の飼養管理							
2	猫の飼養管理							
3	愛玩動物の使用について							
4	社会における動物の役割							
5	適正飼養の推進							
6	動物福祉倫理							
7	産業実験動物の福祉							
8	危機管理と支援①							
9	危機管理と支援②							
10	動物愛護管理行政							
11	問題行動の予防①							
12	問題行動の予防①							
13	問題行動の予防②							
14	期末試験							
15	期末試験解答解説							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師				

科目名	ドッグトレーニング		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1 年次		
受講条件			開設時期	1 前	教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬のしつけ（実技）を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触ることができるようにする							
受講条件	ペット総合学科1 年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	犬のしつけ、訓練について説明ができる							
☑ 思考・判断の観点	その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる							
☑ 関心・意欲の観点	犬の行動について理由を考えることができる							
☑ 態度の観点	どのような犬でも冷静に対処できる							
☑ 技能・表現の観点	自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる							
授業計画（全体）								
座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	犬の本能について（座学）							
3～4	犬の習性について（座学）							
5～6	「歩く」練習 1							
7～8	「歩く」練習 2							
9～10	「歩く」練習 3							
11～12	「触る」練習 1							
13～14	「触る」練習 2							
15～16	実技試験							
成績評価方法								
1 単元末の実技試験								
2 授業態度や積極性								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	○				◎		20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はG P 点数
担当教員	末岡 賢志			実務経験紹介	家庭犬訓練士 嘱託警察犬訓練士	ドッグスクールSue	http://dogschoolsue.com/	

[illegible]

科目名	動物臨床栄養学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1 年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物の食について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペットの食や栄養を知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の食事や栄養について知る								
☒ 思考・判断の観点 動物それぞれの必要な栄養素がわかる								
☒ 関心・意欲の観点 動物の栄養について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 五大栄養素について学び、犬と猫の栄養における相違点を学ぶ。BCSや給与法、おやつについても学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	栄養学総論							
2	栄養学各論 炭水化物							
3	栄養学各論 ミネラル、脂質1							
4	栄養学各論 脂質2、ビタミン							
5	栄養学各論 タンパク質							
6	犬と猫の食性の違い エネルギー1							
7	犬と猫の食性の違い エネルギー2							
8	ペットフード1							
9	ペットフード2 BCS							
10	食事の給与方法							
11	ライフステージ1							
12	ライフステージ2							
13	病態に応じた食事管理1							
14	病態に応じた食事管理2							
15	単元末テスト							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 冬休みの課題								
3 授業態度								
4 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師				

科目名	動物感染症学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1 年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	感染症を防ぎ治療するために病原体の種類や特徴、感染方法や特徴的な症状を知る 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	動物の感染症を正しく知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の感染症について知る								
☒ 思考・判断の観点 動物の感染症を見分けることができる								
☒ 関心・意欲の観点 動物の感染症について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストとノートを用いて授業を進める イラストを用い、構造を理解する								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	寄生虫学総論 外部寄生虫①							
5～8	外部寄生虫②							
9～12	外部寄生虫③							
13～16	菌類							
17～20	蠕虫類①							
21～24	蠕虫類②							
25～28	蠕虫類③							
29～32	吸虫類・条虫類							
33～36	原虫類①							
37～40	原虫類②							
41～44	原虫類③							
45～48	ワクチン①							
49～52	ワクチン②							
53～56	ワクチン③							
57～60	期末試験							
成績評価方法								
1 単原本試験								
2 夏休みの課題								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師				

科目名	繁殖学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬や猫の繁殖生理について学ぶ。解剖学から新生児管理までを学ぶ。 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	犬と猫の生殖方法を知り、繁殖について知る							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師の教科書1（緑書房） プリント							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 犬や猫の繁殖生理を知る								
☐ 思考・判断の観点 正常と異常を知る								
☐ 関心・意欲の観点 犬や猫の繁殖に関心を持つ								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。性の発生から解剖学を学び、繁殖を学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	雄の生殖器の解剖（犬・猫）							
3～4	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
5～6	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
7～8	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
9～10	性に関するホルモンと発生							
11～12	確認テスト							
13～14	避妊去勢							
15～16	出産と新生児管理							
17～18	新生児保育と発達							
19～20	生殖器の疾患（雄）							
21～22	生殖器の疾患（雄）							
23～24	生殖器の疾患（雌）							
25～26	生殖器の疾患（雌）							
27～28	遺伝性疾患							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	小川 奈南		実務経験紹介	動物病院勤務歴10年 愛玩動物看護師				

科目名	造形美術	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1 年次			
受講条件		開設時期	1 通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・トリミングに活かせる立体・空間感覚を養う。 ・色彩の学習をとおして配色などの美的感覚を養う。 ・芸術作品の鑑賞をとおして美的教養を高める。							
授業の一般目標	造形美術に関する造詣を深める。							
受講条件	ペット総合学科 1 年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	主に自作資料による。							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	透視図法などを活用して立体物を描くことができる。色彩の基本的な知識を身に付ける。美術の歴史等について大まかな知識を身に付ける。							
☐ 思考・判断の観点	透視図法などを理解し作画に活かすことができる。不安定な形などに気づき修正することができる。							
☐ 関心・意欲の観点	身の回りの色彩や形体に興味をもち、積極的に観察しようとする。							
☐ 態度の観点	絵画や立体の制作や芸術作品の鑑賞などに積極的に取り組む。							
☐ 技能・表現の観点	透視図法などを活用して立体物を描くことができる。意図に応じた配色を工夫することができる。美術作品を鑑賞して感想・意見等をもつことができる。							
授業計画（全体）								
作図、作画、立体造形、工芸制作などを通して美的感覚、立体感覚、色彩感覚、鑑賞眼等を養う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
①②	オリエンテーション、立体造形							
③④	透視図法、作図							
⑤⑥	絵画作品と透視図法							
⑦⑧	だ円と静物デッサン							
⑨⑩	グラデーションと陰影							
⑪⑫	絵画作品の鑑賞							
⑬⑭	工芸制作							
⑮	前期テスト							
⑯⑰	色彩、配色							
⑱⑰	針金彫刻							
⑲⑱	粘土彫刻							
㉑㉑	工芸制作							
㉒㉒	美術造形作品の鑑賞							
㉔㉔	犬のデッサン							
㉖㉖	猫のデッサン							
㉘㉘	動物のデッサン、学習のまとめ							
㉚	後期テスト							
成績評価方法								
1 毎回の作図作画の質								
2 意欲・関心・態度								
3 定期試験・レポートなど								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			○		20%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○	○		○		10%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○		○	○		10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○		○	20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○		○		30%	不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○	○			10%	（ ）内はGPA点数
担当教員	須内 章雅			実務経験紹介	中学校美術科を35年指導 YICグループにて保育、デザイン科で美術・図工を5年指導			

[illegible]

[illegible]

科目名	飼養管理学Ⅲ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬猫以外の動物の飼養管理について学ぶ 犬猫の特別な栄養管理について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	犬や猫の飼養管理について正しく知る							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物飼養管理士2級テキスト							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	犬猫以外の代表的な動物の飼養管理を知る							
☒ 思考・判断の観点	状況に応じた飼養管理を導き出すことが出来る							
☒ 関心・意欲の観点	犬猫以外の動物の飼養管理について興味を持つ							
☒ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士テキスト別冊を用いて犬猫以外の代表的なペットの品種や特徴、飼養管理などを学び理解を深めていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	ウサギの飼養管理①							
3～4	ウサギの飼養管理②							
5～6	ウサギの飼養管理③							
7～8	ハムスターの飼養管理①							
9～10	ハムスターの飼養管理②							
11～12	鳥類の飼養管理①							
13～14	鳥類の飼養管理②							
15～16	鳥類の飼養管理③							
17～18	カメの飼養管理①							
19～20	カメの飼養管理②							
21～22	その他のエキゾチックアニマル①							
23～24	その他のエキゾチックアニマル②							
25～26	その他のエキゾチックアニマル③							
27～28	その他のエキゾチックアニマル④							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度				○			20	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	小川 奈南		実務経験紹介	動物病院勤務歴10年 愛玩動物看護師				

[illegible]

科目名	高度トリミング実習Ⅱ		単位数	9	科目コード			
授業形態	演習		時間数	270	開設期	2年次		
受講条件	ペット総合学科2年生		開設時期	2後	教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬種や年齢、ライフスタイルなどに応じた様々なカットを実施する ペットグリップを習得する 検定：一般社団法人 全国動物専門学校協会（AAV）トリマー1級							
授業の一般目標	1人で複数頭の犬を仕上げることができる							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	JKC：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	犬種ごとのカットスタイルを理解している							
☑ 思考・判断の観点	個体に合わせたカット方法でカットができる							
☑ 関心・意欲の観点	様々な犬種に対して積極的である							
☑ 態度の観点	積極的に実習を行っている							
☑ 技能・表現の観点	個体に合わせたスタイルを考えることができる							
授業計画（全体）								
シャンプーなどの基礎的な準備作業から仕上げまでを1人でこなす。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～34	1人で複数頭の犬を仕上げることができる							
成績評価方法								
1 演習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師		実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他				

科目名	高度トリミング実習Ⅲ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2年次			
受講条件	ペット総合学科2年生	開設時期	2通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ウィッグを用いてデディベアカットの様々なパターンを理解し、実施する 検定：一般社団法人 全国動物専門学校協会（A A V）サロントリマー1 級							
授業の一般目標	デディベアカットの顔のつくりを理解し、作出することが出来る							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 基本のデディベアカットから、様々な応用までを知る								
☒ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点								
☒ 態度の観点 積極的に実習を行っている								
☒ 技能・表現の観点 画像よりイメージした内容を立体表現する								
授業計画（全体）								
顔ウィッグを用いカット練習を行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1	講義							
2～15	実習							
成績評価方法								
1 演習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師		実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他				

科目名	ビジネスマナーⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2年次		
受講条件			開設時期	2前	教員実務経験対象	有		
授業概要	就職活動に役立つよう、敬語を正しく使い、感じの良い音声表現ができるよう指導する。1年生次に学んだ電話応対のマナーを復習させ、必要な電話応対ができるようにさせる。文書通信のマナーを会得し常識的で基本的な通信ができるよう定型文や言葉づかいを理解させる。							
(目的、目標とする資格・検定等)								
授業の一般目標	就職活動に必要な電話応対、文書の通信のマナーと基礎的な技能、社会人としてのビジネスマナーが身につける。							
受講条件	バツ総合学科2年生							
事前学習について(テキスト・参考書等)	教本『これだけは知っておきたい！面接対策＆ビジネスマナー』、学習プリント、電話応対機							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	テキストや学習プリント教材の基本的な内容を読み取ることができる							
☐ 思考・判断の観点	基本的な知識を元に、自分の言葉でその場に応じた表現することができる							
☐ 関心・意欲の観点	マナーや電話応対などの技能の必要性を理解し、会得したいという気持ちが表れている							
☐ 態度の観点	授業中に私語、居眠りをせず、積極的に取り組む姿勢を示すことができる							
☐ 技能・表現の観点	基本的な知識を元に、電話応対実践や模擬面接などで適切な応対、音声表現ができる							
授業計画(全体)								
1年次に履修した『実践ビジネスマナー』を前提にビジネスマナーを再度確認させる。『これだけは知っておきたい！面接対策＆ビジネスマナー』の単元について講義し、就職採用面接の意義を理解し、面接の流れを把握し、応対の言葉を考え、就職面接に活かせるようにする。また、就職活動に必要な電話応対ができるよう、場面に応じたロールプレイングに取り組ませる。さらにメールや文書のマナーを学び、好ましい文書の通信ができるよう練習させる。また、卒業後の社会人生活で社外でも役立つ冠婚葬祭の基本的マナーも会得してもらう。講座最終日に学習範囲の試験を実施する。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	第1部Ⅳ電話応対(電話の基本、かけ方のマナー)							
3～4	第1部Ⅳ電話応対(電話応対実践)							
5～6	第1部Ⅳ電話応対(電話応対実践)							
7～8	第1部Ⅳ電話応対(電話応対実践)							
9～10	第2部Ⅴ電子メールのマナー(練習問題3)							
11～12	第2部Ⅴ電子メールのマナー(チャット通信のマナー)							
13～14	第2部Ⅵ企業訪問(準備、訪問時のマナー)							
15～16	第2部Ⅶ面接試験(受付、控室、面接室、受け答え)							
17～18	第2部Ⅶ面接試験(オンライン面接)							
19～20	巻末資料 ビジネス分掌、礼状の書き方							
21～22	巻末資料 ビジネス分掌、礼状の書き方(内定後のお礼、辞退の申し出)							
23～24	プリント資料(披露宴招待状の返信、金子堤のマナー)							
25～26	学習プリント[就活対策③【よくある質問】]							
27～28	期末試験							
29～30	試験振り返り							
成績評価方法								
1 出席状況、授業中の姿勢								
2 学習プリントの記入内容が適切かどうか、文字は丁寧かどうか								
3 電話応対や面接のロールプレイング等、実技の取り組みの姿勢								
4 期末試験の得点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						60%	秀、S(4):90点以上
小テスト		○					10%	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○					10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○				5%	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習				○	◎		15%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	(公・財)日本電信電話ユーザ協会 電話応対技能検定指導者級保持者 (一・社)日本ホテルレストランサービス技能協会 食卓作法認定講師として、企業研修などに当 たる。			

科目名	動物看護学	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2年次			
受講条件	ペット総合学科2年生	開設時期	2前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	現場で役立つ動物看護に関する知識を習得する 目標資格：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	トリマー、ペットショップスタッフとして、または動物病院スタッフとして知っておくべき動物看護および動物医療について学ぶ。							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	めざせ早期発見！わかる犬の病気、愛玩動物看護師の教科書1．2．3							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物病院トリマーおよび飼い主に問われる可能性がある一般的な疾病や検査について理解する							
☐ 思考・判断の観点	その疾病を見聞した段階で、病院に行くべきか施術を実行すべきか判断できるようになる							
☐ 関心・意欲の観点	お客様やペットを飼育している身内など周囲の人に自身の学びや知識正しく伝えることが出来る							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点	実習等実施した内容が正しく実行できる							
授業計画（全体）								
テキストや参考資料を基に実施する、1年生の時に行った授業の復習もかね、ぬいぐるみなどを用い実際に蘇生法などを体験する。最終日では実際に検査実習を行うトリマーに必要な看護知識を身に付ける								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	保定							
3～4	予防薬、内服薬復習							
5～6	救急救命、蘇生法							
7～8	エマージェンシー							
9～10	皮膚科							
11～12	内科①							
13～14	内科②							
15～16	骨格、ヘルニア							
17～18	歯科・眼科・耳鼻科							
19～20	介護、老齢動物							
21～22	便検査							
23～24	尿検査							
25～26	血液検査							
27～28	検査実習							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年		愛玩動物看護師		

科目名	トリミング検定対策	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	120	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ケネルラムクリップに特化した実習 目標資格：サロントリマー１級							
授業の一般目標	トリマー１級を目指し、ケネルラムクリップ・ディベアクリップに特化した実習							
受講条件	ペット総合学科２年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	ＪＫＣ：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	ケネルラムクリップ・ディベアクリップのつくり方、検定試験に対応した知識を得る							
☐ 思考・判断の観点	検定試験に受かるためのカット法を習得する							
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点	検定試験に特化したトリミング方法、犬の見せ方などを理解する							
授業計画（全体）								
全国動物専門学校協会サロントリマー１級に対応するトイプードルのクリップを覚える								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
１～５	一人で時間内に指定されたクリップが出来るようになる 時間を意識してカットできる							
６～１０	一人で時間内に指定されたクリップが出来るようになる 時間内に全身を１周出来る							
１０～１５	一人で時間内に指定されたクリップが出来るようになる 時間内に全身仕上げられる							
成績評価方法								
1 検定試験結果								
2 非常勤による実技評価								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト								優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度								可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品								不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、Ｆ
出席				○			欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数
担当教員	トリマー非常勤講師		実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他				